徳風会初代会長　竹谷聰進先生御指導

吉相仏壇

柿本凰祥堂

福相仏師　柿本常光

令和８年８月版
税　込　表　示

「吉相仏壇」という仏壇はありません

吉相仏壇とは、初代竹谷聰進先生の御指導を基本とする吉相の祀り方をされた仏壇の事をいいます。
　初代竹谷聰進先生がお墓と仏壇は先祖祭祀の車の「両輪」にも例えられました。お墓と対を成しご家庭の先祖祭祀の中心としてお仏壇を正しく秩序のあるお祀りと、吉相墓とお仏壇によるご家庭内の先祖祭祀がより強く調和され生まれ来る力を重要視され研究御考案された吉相仏具、すなわち吉数理(吉相寸法)にもとづいた大きさの御本尊をはじめとした吉相仏具をお祀りしたお仏壇を「吉相仏壇」と呼称しています。

　吉数理(吉相寸法)とは「八十一数霊導」によりみなさまの御仏壇に祀られる吉相仏具をより良い意味を持つことができるように謹作させていただいている大きさや数を決める元となる数字です。「八十一数霊導」は徳風会基準寶暦にも毎年掲載されています。また、私共発行の小冊子『幸福を招く先祖祭祀』にも良い数字だけを抜粋して掲載しております。

　吉相仏壇という仏壇が無いと申し上げましたのは以上の様な理由です。つまり、仏壇ありきといった考え方ではなくお祀りする対象物(御本尊・両脇掛軸・御位牌など)と方法を重要視しているのです。

　この考え方は一般式の祀り方のお仏壇を求められる場合であっても当てはまります。お仏壇にご予算の大半を割り当ててから、お祀りする御本尊以下を予算内で仏壇屋さんにお任せして求められ祀る、まさにお仏壇ありきの祀り方を散見致しますが、本来は先祖祭祀が目的でありますので本末転倒です。
　お仏壇をご先祖のお家に例えられた場合、やはり中に入られるご先祖あってのお仏壇ですから、①お仏壇を安置される場所に合うお仏壇の大きさをある程度決め、②宗派毎の正しい御本尊、両脇掛軸と御先祖様方御位牌を決定、③お仏壇を選ぶといった順番が正解といえます。

　吉相墓にて御先祖様を正しく祀られている、また祀られようとされる御尊家様には、お墓と対を成す仏壇によるご家庭の先祖祭祀を初代竹谷聰進先生御指導の吉相による秩序と調和がとれ均整ある理想の祭祀の形が実現します。

(吉相御本尊)

(両脇掛軸)

(吉相祭祀用位牌)

(吉相瓔珞)

(吉相常花)

(吉相仏天蓋)

　これら吉相仏壇と吉相御本尊の製作を初代竹谷聰進先生より私共に50余年にわたり、吉相墓と対を成すご家庭でのお仏壇による先祖祭祀として吉相仏壇を御施主様にお迎え頂けますようご紹介、謹作申し上げます事、私共にご指導頂きました。吉相仏壇に関わります事は、ご安心してご相談賜りますようお願い申し上げます。

吉相仏壇のお祀りを吉相墓に例えますと…

　吉相御本尊、吉相仏具など吉相仏壇をお迎えされるにあたり主に2通りのお迎えのされ方がございます。
　全てを一度にお迎えされる方法 ――→ (①全て吉相)
　吉相祭祀仏壇完成へ向け様々な良い力を養いながら段階的に揃えられる方法 ――→ (②一部吉相)
　以上、どちらも吉相によるご家庭での御先祖祭祀をされる上で素晴らしい事とされています。
　その組み合わせの例を下記の通り表にまとめました。

	御本尊	両脇掛軸	位牌	瓔珞	常花	仏天蓋
①全て吉相	◎	◎	◎	◎二対	◎	◎
②一部吉相	○	◎	◎	◎一対	○/△	○/△
③一般式	○	○	○	○/△	○/△	○/△
◎は吉相の仏具　○は一般式の仏具　△は省略です						

　以上の表を吉相墓に例えますと、概ね以下の通りとご理解ください。

① 全吉相仏具をお迎え(吉相御本尊・両脇掛軸・吉相位牌・吉相瓔珞二対・吉相常花・吉相仏天蓋)されお祀りした状態は、お墓に例えますと吉相墓を建立された状態です
② 両脇掛軸と御位牌を吉相式で祀り、御本尊・瓔珞・常花・仏天蓋は一般式仏具を祀り、または省略され段階的に吉相仏具にされていく祀り方は、お墓に例えますと、木枠や木標から吉相墓を建立される状態です。
　先ずは最小限の先祖祭祀を行いながら、吉相祀りを正しく理解し将来的に吉相仏壇のお迎えを目標とされるご家庭様や御仏壇の大きさ、形状安置場所など様々なご都合に沿った吉相祀りをされるご家庭様向きの方法です。
③ 全てを一般式お仏具でお祀りします。お墓に例えますと、一般式のお墓を建立された状態です。

吉相本尊　吉相仏壇のまとめ役

吉相仏壇には　絵像より木像、木像でも吉相本尊をお迎え下さい

初代竹谷聰進先生は、仏壇内の御本尊は木像または絵像で福々しいお姿がお薦めされました。そして吉相仏壇の究極の御本尊として、木像にて様々な「相」による力強さを人間の福相で表現した御本尊としての形と、その彫刻作法を御考案された福相御本尊を専ら私共へ御指導いただきました。

しかしながら、先代の頃より偽物が横行し始めた様に吉相仏壇への理解意識の低下や経済や先祖祭祀そのものへの考え方の変化など昨今の社会情勢の影響で特別製であり受注毎に勤作する事からどうしても既製仏像より高価な福相御本尊をお迎えされる御施主様が数年に一例程度まで激減してまいりました。私共で福相御本尊御仏身や台座を彫刻してもお顔部分をはじめとした彩色を福相御本尊として特別な仕上げにて手掛ける彩色職人も福相阿弥陀如来像をあと一体仕上げたのち廃業するとの意向を表明され、その後は福相の彩色仕上げをする事が出来なくなりました。新たに彩色職人を手配しようにも現在の様な作例の少なさでは福相御本尊としても特別な彩色仕上げを覚えてもらう事すらでず誠に無念でありますが60余年にわたり吉相仏壇の中心として多くの施主様方へお迎え頂いてまいりました福相御本尊の勤作は断念せざるを得なくなりました。

この様に福相御本尊を御用意することができなくなったとはいえ御仏壇に御施主様の御宗派に合った御本尊をお祀りする事が大切であることに変わりはございません。そこで長年の福相御本尊勤作で培った考え方を既製の御本尊像であっても可能な限り適用して既製御本尊であっても吉相の力のある吉相御本尊としてお祀りできるよう御用意させていただく事になりました。この方法は今までても吉相仏壇を御用意させていただいた御施主様の中で何例か手掛けた方法なのです。すなわち「以前御縁あって長年お祀りしている御本尊を引き続きお祀りしたいが少しでも吉相仏壇として完成させたい」との御意向を持たれる御施主様方があり御本尊様も木造で宗派に合った仏様でしたので、ある方は既存御本尊の別台をつくり総高さを吉寸法に、ある方は台座光背を福相御本尊と同型のものを作り、総高さや幅奥行を吉寸法にするなどの対応をさせて頂きました。今後はこういった形で吉相仏壇の御本尊を吉相御本尊としてお迎えいただけたら幸いです。

以上の様に福相御本尊は阿弥陀如来像一体を残し今後は御用意することは出来ませんが、既製の仏像を吉相御本尊として仕上げるためにもその大本となる福相御本尊の特徴をご説明させていただきます。

福相本尊の特徴

御仏壇内では家の中心とされる御本尊像に人間の様々な吉相を具現化し、吉相寸法にて製作された福相御本尊は吉相蔓と車の両輪と表現された家庭のお仏壇の吉相祀りの中心、言い換えれば吉相仏壇のまとめ役です。

全体像としては「若さ」と「生命力」を強調して表します。童顔でふっくらと福々しく下膨れのお顔や耳、眼と鼻と口元のバランスでは和やかに笑みを浮かべた表情になるよう彫刻しています。眼はお多福さん的なタレ眼でも、澄ましたすっきりした眼でもなく統率力を表す形といわれています。この眼と鼻から口元にかけての調和でお顔の「相」をまとめています。

手は赤子の手のようにふっくらと、また吉相の手相を表します。すなわち親指から小指へ生命線・事業線・運命線、手首から指先へ知能線・感情線・結婚線を定められた秘伝の基準を守りながら刻みます。足も手と同じく赤子のごとく、そして向かって右側左足の親指をわずかに上げているのは、人間が始めて一歩踏み出すのは心臓のある左足からとの考えからです。これは「動の態度」といい、静から動へと今にも歩き出そうとしている姿、行動力を表しています。

吉相御本尊として上記複素御本尊の特徴を元に既製仏像に「できるだけふっくらとしたお顔」「頭部・お顔の彩色」「御仏身の金泥描」「手相彫」そして御施主様の御意向により「吉相台座と光背を吉寸法で勤作」を取り入れました。まだ作例画像はございませんが、既製仏像はこれよりの既製仏像の一例の画像の様に彩色等全く無いものが多く生気を感じない仕上がりとなっています。これらに福相御本尊の特徴を一部でも表すだけで生命力を感じられると考えます。

仕上げ方法の違いによる様々な仕様があります

昨今の時代の変化や住宅事情などにより、御本尊はそのままに台座と光背の仕上げ方法などの工夫や別吉相寸法の設計や彫刻の簡略化を図り、より小型のお仏壇への対応やお求めやすく謹作しました「別上普及型」や「新普及型」を「標準仕様」の他に御用意させていただきました。

材質について

材質は楠木、柘植、白檀を使用します。御仏身は木地彫りの仕上げで衣の模様を金泥描き仕上げとします。

台座や光背の形について

台座を吉相仕様で作る時は一般の丸型や六角型、八角型を用いず、初代先生御指導の形で小判型にします。横幅、奥行、台座までの高さ、光背をつけた高さなどの寸法も御本尊の高さに合わせて吉相寸法で製作します。標準的に用いる寸法はありますが、安置場所により台座の寸法や総丈を吉寸法で調整します

光背は宗派にあった形のものを製作します。台座や光背の彫刻後は胡粉、漆、金箔仕上を致します。

当次ページより、宗派毎の御本尊をご紹介致します。阿弥陀如来像のみあと一体福相御本尊勤作が可能ですので福相御本尊を掲載します。台座光背の形状の御参考にしていただけると思います

福相阿弥陀如来　天台宗(山門派,真盛派)・浄土宗・時宗・大念仏宗(十一尊仏軸の前に)・浄土真宗本願寺派(西)

○天台宗(山門派、真盛派)・浄土宗・時宗・大念仏宗(十一尊仏軸の前に)など

【標準仕様】

【別上普及仕様】

【新普及型(並仕様)】

○浄土真宗本願寺派(西)・真宗興正派

【標準仕様】

【別上普及仕様】

【新普及型(並仕様)】

	標準仕様 老山白檀製	別上普及型 老山白檀製	新普及型 老山白檀製
福相御本尊	1,078,000 円	935,000 円	880,000 円
参考標準総高	約 30～33 cm	約 27～30 cm	約 27～30 cm
参考標準総巾	約 15.8 cm	約 14.3 cm	約 14.3 cm
参考標準総奥行	約 10 cm	約 10 cm	約 10 cm

※　製作期間は概ね5、6ヶ月～8ヶ月程度となります

福相御本尊の仕様

	標準仕様	別上普及仕様	並仕様(新普及型)
白毫	ﾀﾞｲﾔﾓﾝﾄﾞ	ﾀﾞｲﾔﾓﾝﾄﾞ	水晶
御身	極細金泥有	細金泥有	並細金泥有
蓮華	5弁吹(葺)	3弁吹(葺)	ムキ(剥)蓮華
後光(光背)	立雲総金箔	立雲前金箔	京型前金箔
茄子	総金	総金	総金
シベ	総金	―	―
反花	上彫	並彫	並彫
色入框	アゲ彩色	彩色	総金
上框	総金	―	―
ホテ	総金彩色入	―	―
下框	総金	総金	総金

既製御本尊の一例

吉相仏壇だけでなく一般様式の御仏壇でも御本尊は必要です。ここでは吉相御本尊の元となる既製御本尊は国内の高名な仏師が製作されたものや国産製、中国など海外で安価に製作されたものなど多種多様ございます。また既製品ですので在庫切れや廃版となる事もございますので一つの形状の参考にしていただければ幸いです。
御見積や御下命時は大きさや台座光背の仕様と併せて吉相御本尊として適切な御本尊様を御提案させていただきます。

1 木製仏像

阿弥陀如来　立像舟後光
天台宗(山門派・真盛派)
浄土宗、時宗

①　②　③

阿弥陀如来　立像西弥陀
浄土真宗本願寺派

①　②　④

阿弥陀如来　立像東弥陀
真宗大谷派

①　③

	4寸	4寸5分
① 白檀仏身泥付頭部彩色開眼六角金箔台座(国産)		
② 総白檀八角木地台座仏身泥付頭部彩色開眼(木地中国製)		
② 総榧八角木地台座仏身泥付頭部彩色開眼(木地中国製)		
② 総黄楊八角木地台座仏身泥付頭部彩色開眼(木地中国製)		
③ 総檜丸台座木地　仏身泥付頭部彩色開眼(木地中国製)		

大日如来座像
真言宗

①　②　②

釈迦如来坐像
禅宗系

①　③　④

	2寸	2寸5分
① 白檀仏身泥付頭部彩色開眼六角金箔台座(国産)		
② 総白檀八角木地台座仏身泥付頭部彩色開眼(木地中国製)		
② 総榧八角木地台座仏身泥付頭部彩色開眼(木地中国製)		
② 総黄楊八角木地台座仏身泥付頭部彩色開眼(木地中国製)		
③ 総檜丸台座木地　仏身泥付頭部彩色開眼(木地中国製)		

日蓮聖人像　　日蓮宗

①　②　③

	2寸	2寸5分
① 総白檀仏身泥付開眼(木地中国製)		
② 総榧仏身泥付開眼(木地中国製)		
① 総黄楊泥付開眼(木地中国製)		
③ 総檜仏身泥付開眼(木地中国製)		

2 御掛軸絵像　様々な御都合で御本尊を御掛軸でお迎えされる場合

下記絵像は、錆金襴・雲鳳金襴・本金襴・上金襴・緞子で表具をしたお掛軸の一例です
新上金襴や並金襴表装では相などが異なります

①

②

③

④

⑤

⑥

⑦

①阿弥陀如来　立像舟後光	天台宗(山門派・真盛派)浄土宗、時宗
②阿弥陀如来　立像西弥陀	浄土真宗本願寺派(西)
③阿弥陀如来　立像東弥陀	真　宗　大　谷　派(東)
④聖観世音菩薩　立像	真言宗(吉相)、禅宗系(吉相)
⑤大日如来　坐像	真言宗(一般)
⑥釈迦如来　坐像	禅宗系(一般)
⑦字曼荼羅	日蓮宗

表装について

錆金襴(西除)

雲鳳(西のみ)

本金襴・上金襴・並金襴

緞子

寸法	錆金襴 上製シルク	雲鳳 上製シルク	本金襴 上製シルク	上金襴 上製シルク	緞子 上製シルク	新上金襴 上製印刷	中金襴 上製印刷	並金襴 並印刷
20代	35,800 円	29,300 円	20,700 円	15,000 円	12,400 円	5,280 円	4,840 円	1,430 円
30代	35,800 円	29,300 円	20,700 円	15,000 円	12,400 円	5,500 円	4,840 円	1,540 円
50代	42,200 円	34,100 円	23,800 円	17,000 円	14,300 円	5,940 円	5,170 円	1,650 円
70代	63,800 円	49,900 円	36,500 円	21,800 円	20,100 円			

※　新上金襴と並金襴表装を除き　浄土真宗本願寺派及真宗大谷派用は1割程度価格が高くなります。
※　上記価格に時価調整として、令和8年度中は 13%上乗せさせていただきます。

吉　相　仏　具

福相御本尊(阿弥陀如来)　吉相瓔珞大小二対　吉相常花　吉相仏天蓋

両脇掛軸

両脇、脇侍仏ともいい、御本尊のお働きをお助けするといわれています。
吉相では木像を祀らずに必ず掛軸をお祀りします。
ご本尊と同じく、必ず宗派に応じた掛軸をお祀りください。(日蓮宗身延派、大念仏宗等は三幅ございます)
基本的には一般式の絵像と同じ方をお祀り致しますが、一部宗派では吉相式としてお勧め祀り方がございます

御掛軸絵像の一例 (錆金襴・雲鳳金襴・本金襴・上金襴・緞子)

傳教大師　天台大師
天台宗(山門派)

智証大師　天台大師
天台宗(寺門派)(※)

慈摂大師　天台大師
天台宗(真盛派)(※)

不動明王　弘法大師
真言宗

法然上人　善導大師
浄土宗

蓮如上人　親鸞聖人
浄土真宗本願寺派(西)

九字名号　十字名号
真宗大谷派(東)

十字名号　九字名号
真宗仏光寺派(※)

大黒天　鬼子母神
日蓮宗

承陽大師　達磨大師
曹洞宗

各派
開山絵像

達磨大師
臨済宗諸派(※)

真教上人　一遍上人
時宗(※)

錆金襴

雲鳳(西のみ)

本金襴
上金襴
並金襴

緞子

価格表 (左右二幅一対)

寸法	錆金襴 上製シルク	雲鳳 上製シルク	本金襴 上製シルク	上金襴 上製シルク	緞子 上製シルク	新上金襴 上製印刷	中金襴 上製印刷	並金襴 並印刷
20代	71,600 円	59,600 円	41,400 円	30,000 円	24,800 円	10,560 円	9,680 円	2,860 円
30代	71,600 円	59,600 円	41,400 円	30,000 円	24,800 円	10,560 円	9,680 円	3,080 円
50代	84,400 円	68,200 円	47,600 円	34,000 円	28,600 円	11,880 円	10,340 円	3,300 円
70代	127,600 円	99,800 円	73,000 円	43,600 円	40,200 円			

※印の宗派と上記未記載の宗派では、描絵のみのご用意やご住職からお受けいただく場合がございます
※　各宗派本尊、真宗以外の両脇を手描絵としますと、11,000 円増となります。
※　新上金襴と並金襴表装を除き　浄土真宗本願寺派及真宗大谷派用は若干価格が異なります。

吉相瓔珞（きっそうようらく）～御本尊の手となりお働きを助けます

吉相仏壇には一対より二対、金属・樹脂製より紙木製の吉相瓔珞を祀ります

瓔珞とは本来は御仏壇内の荘厳具とされています。

吉相では御本尊様を御先祖様の身体に例えるならば「手」に相当し、そのお働きを助け多くの協力者を得られるとの御指導です。可能な限り大小二対を御本尊様から末広がりに祀ります。

吉相瓔珞は吉数理に基づいて造られています。下がりの三枠や三銀杏(小三枠)には吉数の「3」を表して構成されているのは初代竹谷聰進先生がご研究の上御考案された形状で、一般に見られる木製瓔珞とは異なります。

材質を紙木製としている意味は、金属やプラスチック（石油）のように地下にあった「陰」のものよりも、自然の恵みを受け天に向かって伸びていく木、すなわち「陽」で作られたものである方がより力があるとされているからです。これは後述します吉相常花・仏天蓋にも同じことが言えます。

三枠（みつわく）と三銀杏

吉相瓔珞は祀るお仏壇の大きさに応じて様々な大きさのものをご用意しております。特に二対祀られる際はお仏壇内部の大きさにより、大小の組み合わせや掛け方のバランスなどがございますので、お求めの際はご相談下さい。

吉相瓔珞価格表（一対）　吊具金属他　本体紙木製、本金箔仕上げ

大きさ	下り丈 cm)	下り/段	価格
6号	18	4/3	77,300 円
7号	21	4/4	98,100 円
8号	24	5/4	121,800 円
9号	27	6/5	175,300 円
10号	30	7/5	202,000 円
11号	33	7/6	240,600 円
12号	36	7/7	279,200 円

礼拝される際に御本尊様から末広がりに見える様に、小1対、大1対の計 2 対を吊ります。

1対からおはじめの御施主様の場合は、大小 2 対を吊ることを前提に最初は小 1 対を吊ります。

大きさの決め方の目安として
巾60cm程度、高さ150cm 程度のお仏壇（18号）ですと、
比較的7号と9号の吉相瓔珞の組み合わせが多くございます。

吉相常花（きっそうじょうか）～御本尊様の足となり行動力などのお働きを助けます

吉相仏壇には金属製・樹脂製より木製の吉相型木製黒塗花立の吉相常花を祀ります

仏前に置く金蓮華です。吉相仏壇では前述の吉相瓔珞が御本尊様の「手」を助ける働きに対し吉相常花は「足」の働き、特に行動力をお助けします。吉相瓔珞と吉相常花で手足をそろえることになり、より御本尊様仏様のお働きを助け協力者や後援者を得られるといわれています。

花立は木製黒漆塗りで初代竹谷聰進先生が御研究、御考案された吉相の形状で、上面を青色に彩色します。これは水板といって、金蓮華に力を与える吉相常花としての特徴です。

吉相常花価格表（一対）
本体紙木製、本金箔仕上、花立吉相型黒漆塗

大きさ	総丈(cm)	本数	価格
6号	約 23	7	132,000 円

※　御仏壇の大きさにより高さを吉寸法で調整いたします。

吉相仏天蓋（きっそうぶってんがい）～御本尊様を守る荘厳具です

仏天蓋は御本尊様の上に笠のように吊し、雨露塵埃を避け御本尊様を守るといった意味があり、吉相祀りに関係なく一般式のお祀りでも使用される仏具です

初代竹谷聰進先生から御指導頂いた時点は、吉相上の相や意味は天蓋にはありませんが、お迎え頂く際、吉相瓔珞の下がりと形を同様にされたいとのご要望にお答えする形で吉相瓔珞と同じ作りで製作する様になりました。

しかしながら吉相瓔珞と同様の三枠をもつとはいえ、本来は吉相上の意味が無い事から、吉相仏具としては省略する事もございます。

段階的に吉相仏具をお迎えの御施主様には福相御本尊をお迎えされた機会にご一緒にお求めされる事をお勧めします。

吉相仏天蓋価格表　吊具金属他　本体紙木製、本金箔仕上げ

形	大きさ	価格
半月	4.5 号	75,700 円
	5号	81,800 円
	6号	90,800 円
	7号	108,900 円

浄土真宗系では宗派の正式な形のお仏壇の形などから、仏天蓋は省略します

大きさの目安は、須弥壇（最上段中央）の空間に収まり、御本尊様が小型、基準寸法の場合は 4.5～6号をご用意致します。

位牌 お墓の遥拝所にして御先祖様方の象徴です。宗派に関わらず皆さんお祀り下さい

位牌はお墓の遥拝所として吉相墓と同じく御先祖を戒名で正しく祀る為に必要です。
お位牌の表面にはご戒名（法名、法号）を刻みます。裏面には御命日・俗名・行年を刻み、仏様のその他の情報は記録帖として過去帖に記される事で子々孫々の方々にお伝えください。
代々の御先祖を祀られているご本家様も分家初代様も必ず「○○家先祖各霊位」のお位牌をお祀りください。
初代様より代々の御先祖様方は夫婦単位で一つの位牌をお祀りします。ご夫婦のうちどちらかが亡くなられた場合は存命の方は空白にしておきます。生前戒名を享けられた方は文字を入れ赤文字にします。いづれにしても御夫婦が揃う形の位牌を祀ることが大切です。
大きさは「○○家先祖各霊位」のお位牌より一段小さめ、あるいは同じ大きさにします。現在多くのご家庭のお仏壇の大きさは半間のお仏間に最適な大きさより小さいものが大半です。後述しますお子様のお位牌を作る場合など「○○家先祖各霊位」よりも何段階か小さく作ります。この位牌を一番小さい位牌として逆に「○○家先祖各霊位」のお位牌の大きさを割り出した場合、お祀りされるお仏壇に対して大きすぎる場合がある事から、多くは御先祖様と代々御夫婦のお位牌は同じ大きさをご用意させていただく事になります。お仏壇の大きさに余裕が有る場合は此の限りではありません。
お子様や水子様、逆死された方のお位牌は御先祖、夫婦の位牌よりも小さく、同じ代毎に一緒に祀ります。
また、吉相墓の五輪塔で祀られているご先祖様方が多数の場合は操出型の位牌をご用意させて頂きます。

札位牌

位牌には様々な形や素材のものがございます。吉相では特に初めてお位牌を作られたり、既存お位牌の形を揃えられるなど作り変えの際は二代目竹谷聰進先生の御指導により、艶のある黒塗りにて文字を刻み本金箔を入れた吉相仕様の【櫛五重座（くしごじゅうざ）】や【千倉座（ちくらざ）】のお位牌を主にお勧めしております

櫛五重座

別製京型櫛五重座
吉相艶本黒札

寸法	価　格
3.0	72,800 円
3.5	67,300 円
4.0	72,600 円
4.5	79,200 円
5.0	85,300 円
6.0	98,100 円

櫛五重座

寸法	価　格
3.0	32,300 円
3.5	34,500 円
4.0	38,500 円
4.5	42,200 円
5.0	43,300 円
6.0	52,100 円

（左）別製京型櫛五重座吉相艶本黒札
既製の京型櫛五重座位牌の札部分は艶のない漆で仕上げられています。吉相では相の力を集めるため、より深い黒色とするために、札の表面と裏面を艶のある漆で仕上げ、側面と台は落ち着いた輝きの本金箔重押し仕上げをしています。伝統的な技法を用いられています。

※金箔は漆の塗り方で仕上がり具合を変えることができます。
この位牌は札面を艶のある黒色に、金箔を京型本来の重押し仕上げとするため、二通りの漆を塗り分ける技術と手数で作られています。

（右）櫛五重座
既成品です。全体を艶のある黒色と金箔は表面が金メッキの様な仕上げになります。

よく似た形状の別製京型櫛五重座吉相艶本黒札と櫛五重座ですが別種ですので同寸であっても大きさが異なります

千倉座

別製京型千倉座
吉相台札艶本黒

寸法	価　格
3.0	49,500 円
3.5	49,900 円
4.0	51,200 円
4.5	56,100 円
5.0	61,400 円
6.0	72,400 円

別製京型千倉座吉相台札艶本黒

既製の京型千倉座の札部分は艶のない漆で仕上げられています。吉相では相の力を集めるため、より深い黒色とするために、札の表面と裏面を艶のある漆で仕上げています。

札部分の表面と裏面、足部分を艶のある漆で仕上げ、札の面は本金箔仕上げの札本黒面金仕様となっています。

位牌の台部分には空間の空いていない吉相独特の仕様です
一般式の千倉型は右図の様に台部分に空間があり（※1）
お墓で言うところの猫足と同様の相になる傾向にあるようです
特別な御指導がない限り、吉相台仕様をご用意致します

（※1）

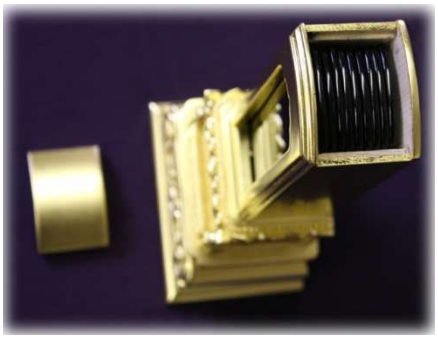
春日楼門型吉相台換装

春日楼門型
吉相台換装

後述の繰出位牌と御一緒に御用意させていただく際に　全体としてお求めやすい吉相位牌をと　既製品の春日楼門型の台のみを吉相台に換装しました

寸法	価　格
3.0	49,500 円
3.5	50,050 円
4.0	50,600 円
4.5	60,500 円
5.0	66,000 円
6.0	73,700 円

操(回)出位牌(くりだしいはい)



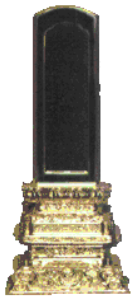
前頁の様な札位牌の他に操出位牌（回出位牌）くりだしいはいがございます。
操出位牌は、長く続いた家などではお仏壇中がお位牌で一杯になってしまう場合や、戒名を刻んだ五輪塔を祀られている場合など吉相墓に準じた祀り方に整えるために用意します。札位牌との違いは戒名を刻んだ札（中板）を箱状の位牌上部に納めてあります（右図参照）ので複数の仏様をお祀りいただけます。

日常は「〇〇家先祖各霊位」など先祖代々の札を正面に祀り、御命日には該当する各仏様の中板を正面に出して祀ります。形としましては札位牌と同じ種類のお位牌を御用意ください。（※2）

繰出櫛五重座

別製京型櫛五重座
中板艶本黒 10 枚

寸法	価　格
3.5	
4.0	
4.5	
5.0	
6.0	



別製京型櫛五重座
中板艶本黒 10 枚

寸法	価　格
3.5	
4.0	
4.5	
5.0	
6.0	

純三方金櫛五重座本黒操出位牌

略して（くしごじゅう）と呼称されます

札部分の表面と裏面を艶のある漆で仕上げ、側面は本金箔仕上げをしています

左側画像、の正面・側面・背面が艶有黒塗りの仕様も製作は可能ですが、櫛五重座系の形では吉相祀りの為の仕様としては後述の屋根付しようと同様の理由で向いていません。新規にお迎えされる場合は左側の総金の仕様をお勧めする御指導を頂いております。

総高さは同型札位牌と同じとしています。その他の総巾や奥行などはお仏壇の安置場所に合わせて可能な範囲で調整謹作致します。

価格は別製品につき変動が激しく時価とさせていただきます。
下記、既製品（+艶黒塗り中板10枚入り）を御参考に、実際はより高価となります事御了解下さいます様お願い申し上げます。

以下、繰出千倉座も同様でございます。

繰出千倉座

寸法	価　格
3.5	
4.0	
4.5	
5.0	
6.0	

京型千倉座吉相台
別製中板艶本黒　中板艶本黒 10 枚

純面金千倉座本黒操出位牌

略して(ちくらがた)と呼称しています

札部分の表面と裏面、足部分を艶のある漆で仕上げ、札の面は本金箔仕上げをしています

また、位牌の台に空間の空いていない吉相位牌専用の仕様です(※1)

春日楼門型吉相台換装

寸法	価　格
3.5	100,500 円
4.0	102,700 円
4.5	115,500 円
5.0	138,600 円
6.0	152,900 円

繰出春日楼門型吉相台換装
中板黒板　9枚

吉相祭祀に適した繰出位牌は別製につきどうしても高価になってしまいます。そこでもともと吉相祭祀に向いた箱型の春日楼門型の繰出位牌の台を吉相台に換装し中板も黒板にする事でよりお求めやすく御用意しました

(※2)操出位牌は既製品では、櫛五重型、千倉型共に右図の様に屋根や扉が付いております。台の形など札位牌と同じであれば違和感無くお祀りいただけますが、屋根付は総丈に対して戒名を刻む中板が短く、刻む戒名文字の大きさも相対的に小さくなってしまいます。適正な大きさの札位牌と一緒にお祀りしますと、札位牌の戒名も字の大きさに対しても小さく見えてしまう事から、屋根の無い形の繰出位牌で戒名を大きく力強く表す事のできる形状のものを吉相位牌専用とする二代目竹谷聰進先生のご指導です。

位牌文字彫刻・描料　一文字

	位牌書体		位牌書体彫り足
表面　本金文字	375 円		+46 円
裏面　白文字	265 円		+48 円

位牌の文字は　特別な御指導(描文字)がない限り彫刻にて表します

仏壇　吉相祀りに最適な構造のお仏壇をご紹介させて頂きます。

初代竹谷聰進先生の御指導では、仏壇は福相本尊はじめ吉相仏具を祀ることを第一義とし、これらを祀りやすい仏壇をお勧め用意する様にとの御指導いただきました。

金仏壇の中でも吉相祭祀に適したものは国内生産品では受注生産が基本となっております。また海外製も価格変動が激しく必要に応じて御見積させていただいておりますので下記の大きさ等は御参考にしてください

唐木仏壇・新型仏壇におきましても製造数が限られ　在庫切れが発生しそのまま廃版となる事もございます　下記以外にもお探しできますのでお気軽にお尋ねください

京型金仏壇本願寺派(国産)(海外)

寸法	高×巾×行	価　格
18 号	155×62×55	
20 号	163×68×60	
22 号	170×75×63	

京型金仏壇大谷派(国産) (海外)

寸法	高×巾×行	価　格
18 号	155×62×55	
20 号	163×68×60	
22 号	170×75×63	

京型浄土屋根円窓障子(国産)

寸法	高×巾×行	価　格
18	151×59×54	
20	167×65×60	
22	171×71×63	

京型金仏壇　各宗向(国産)

寸法	高×巾×行	価　格
18	151×59×54	
20	167×65×60	
22	171×71×63	

【彩雲】紫檀三方練(国産)

同価格にて黒檀製もあります
画像は柱入りです、
吊柱仕様は若干異なります

寸法	高×巾×行	価　格
18 号	161×65×58	1,716,000 円
20 号	172×70×62	1,892,000 円
		ZRYH1

【景雲】紫檀前練吊柱(国産)

画像は柱入りです、
吊柱仕様は若干異なります

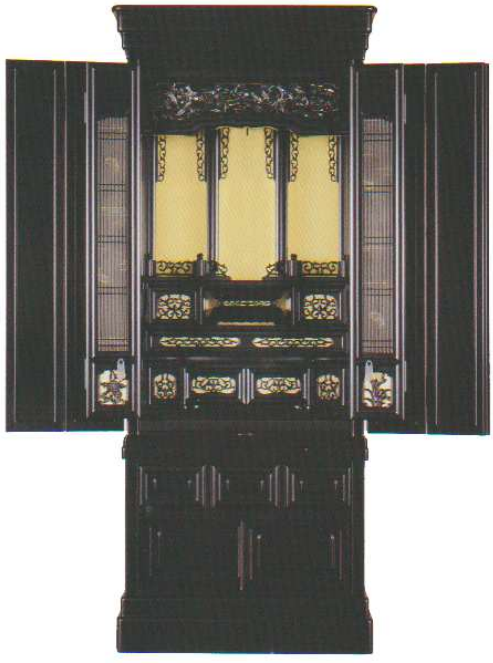
寸法	高×巾×行	価　格
16 号	160×55×	891,000 円
18 号	160×60×	935,000 円
		ZKRN

【桃山】紫檀杢張(国産)

受注生産品につき
納期に約2カ月半ほど要します

寸法	高×巾×行	価　格
18 号	155×63×59	693,000 円
		YMY7ZS

【七十七】天然木無垢並桜(国産)



寸法	高×巾×行	価　格
16 号	130×54×	484,000 円
18 号	140×60×	528,000 円
		ZKJU

【朱雀】紫檀三方練吊柱(越南製)

内部三方金
柱入り仕様もございます
黒檀製は各 9 万円割高です

寸法	高×巾×行	価　格
16 号	150×57×54	1,056,000 円
18 号	160×64×58	1,100,000 円
20 号	170×70×65	1,155,000 円
		Z4-7832B

【桃華】紫檀二方練吊柱(越南製)

寸法	高×巾×行	価　格
16 号	150×57×57	1,045,000 円
18 号	160×63×65	1,188,000 円
20 号	172×69×67	1,210,000 円
		ZKWA

【舞華】紫檀調 MDF(中国製)

寸法	高×巾×行	価　格
18 号	160×63×53	407,000 円
		ZSMZ

【龍鳳】紫檀調 MDF(中国製)

寸法	高×巾×行	価　格
16 号	149×57×49	396,000 円
		ZRYO

【敷島 SHIKISHIMA】ナラ材(国産)

両端押込扉　ダウンライト付

寸法	高×巾×行	価　格
20 号	120×60×42	649,000 円
		Z11-1292

【不二 FUJI】ナラ材(国産)

両端押込扉　ダウンライト付

寸法	高×巾×行	価　格
20 号	120×60×42	715,000 円
		K01-0151

【扶桑 FUSO】タモ材(国産)

一本立　ダウンライト付

寸法	高×巾×行	価　格
19 号	157×62×50	748,000 円
		Z11-0691

【秋津洲 AKITSUSHIMA】タモ材(国産)

ダウンライト付
別色(ダーク色)あります

寸法	高×巾×行	価　格
18 号	145×54×46	737,000 円
		Z11-1382

【陽春 YOSHUN】カバ材(国産)

ダウンライト付
内蔵経机付

寸法	高×巾×行	価　格
18 号	125×55×46	550,000 円
		Z11-1301

【初瀬 HATSUSE】ウォールナット材(国産)

ダウンライト付
内蔵スツール(椅子)付

寸法	高×巾×行	価　格
17 号	128×52×43	605,000 円
		K01-0101

【秋月 AKIDUKI】タモ材低台(中国製)

和室でも祀り易い家具調仏壇

ダウンライト付

寸法	高×巾×行	価　格
16 号	120×52×51	440,000 円
		ZMRS

【若葉WAKABA】タモ材高台付(中国製)

洋間向・テーブル椅子付
上部のみ上置き型としても使用可
ダウンライト付
別色(ダーク色)あります

寸法	高×巾×行	価　格
15 号	140×48×45	418,000 円
上置き	70×48×45	313,500 円
		Z11-1404

【春風 HARUKAZE】タモ材台付(中国製)

和室でも祀り易い家具調仏壇

実際の色は左【秋月】に近いです

寸法	高×巾×行	価　格
13 号	121×46×46	275,000 円
		Z11-1242

以下のお仏壇は25号を除き、本格的な吉相祀りには大きさや構造上の制約があり向いていません。御本尊を掛軸で祀られたり、ご実家から離れて生活されているお方様宅で、ご実家のお仏壇の遥拝所として簡易祀りをされる時に用います。

上置型 黒檀杢張出〆ダルマ(国産)

同価格で紫檀もあります

寸法	高×巾×行	価　格
23 号	71×52×36	242,000 円
25 号	75×54×38	253,000 円
		Y7_24-1

上置型　MDF 紫檀調(海外製)

寸法	高×巾×行	価　格
20 号	61×45×31	88,000 円
		Z4-9306

上置型　箱壇桜色(中国製)

寸法	高×巾×行	価　格
18 号	55×44×31	70,400 円
		Z4-9333

【聖 HIJIRI】クルミ材(国産)

寸法	高×巾×行	価　格
20 号	60×45×33	176,000 円
		ZZAS

【初月 HATUDUKI】ウォールナット張(中国製)

寸法	高×巾×行	価　格
18 号	55×42×37	132,000 円
		ZNZM

【八島 YASHIMA】ナラ材(国産)

両端押込扉で広く祀れます

寸法	高×巾×行	価　格
18 号	54×45×33	242,000 円
		Z111091

宗派別　仏具一覧表

吉相仏具の他　宗派別に必要な主な仏具類をまとめました

道具	天台宗	真言宗	禅宗系	日蓮宗	浄土宗	浄土真宗 本願寺派	浄土真宗 大谷派
本尊木像または掛軸	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆
両脇掛軸	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆
宇曼荼羅				☆			
三宝尊				(☆)			
御位牌	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆
見台	―	―	―	―	―	―	―
過去帖	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆
戸帳･ケマン						◯	
上机(卓)						◯	◯
火舎香炉						◯	◯
華瓶						◎	◎
吉相瓔珞(小)	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆
吉相瓔珞(大)	(☆)	(☆)	(☆)	(☆)	(☆)	(☆)	(☆)
吉相常花	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆
輪灯または灯篭	◯	◯	◯	◯	◯	◯	◯
三(五)具足	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
前香炉	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
線香立	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
前机(卓)	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
打敷	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
仏飯器3個(5 個)	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
仏飯器台	◯	◯	◯	◯	◯	◯	◯
高杯	◎	◎	◎	◎	◎		
供笥						◎	◎
茶湯器	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
茶台	◯	◯	◯	◯	◯	◯	◯
水用コップ	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
りん一揃い	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
木魚一揃い	◯		◯		◯		
木鉦一揃い				◯			
鉦吾一揃い					◯		
霊供膳一対	◎	◎	◎	◎	◎		
経机	◯	◯	◯	◯	◯	◯	◯
香合	△	△	△	△	△	◎	◎
僧侶座布団	△	△	△	△	△	△	△
マッチ消	△	△	△	△	△	△	△

記号の説明

☆　吉相祀りには必ずご用意頂くお仏具

(☆)　吉相祀りには必要なお道具ですが、お仏壇の大きさや構造により省略する場合があります

◎　必要なお仏具です

◯　必要な仏具ですが、お仏壇の大きさや構造など様々な事情により省略する場合があります

△　ご尊家様ごとの様々なご事情により必要に応じご用意します

吉相仏壇をお求めになられるにあたって

吉相仏具は初代竹谷聰進先生の御指導通りの製作技法など忠実に守りながら全て別製で製作して致しておりますので、一般仏具と比較して高価になってしまいます。また、一般仏具類も長く御先祖様をお祀りされる事から、安価かつ簡略なお道具類はなるべく避けてご用意させて頂いております。

一度の機会で吉相仏具を全てお迎えされる御施主様や段階的に吉相仏壇を完成される御施主様など吉相仏壇のお迎えの方法は様々です。どちらの方法も良しとされていますので、お気軽にご相談賜りますようお願い申し上げます。お見積りご依頼の際は御都合などをお聞かせ頂き、お施主様の吉相によるご先祖祭祀の為にご一緒に考えてまいります。

大黒さん（福相大黒尊天）

陰陽のバランスを表し、たくさんの福を袋に詰めて走っておられるお姿です。御商売をされている場合は商売繁盛を祈念し事務所などに、ご家庭の場合は家庭円満・財禄豊富・良縁成就等を祈念し、居間や台所に安置します。

大黒さん（大黒尊天）は「だいこくさま」「だいこくさん」の呼び名で、庶民の間で人気のある縁結び、商売繁盛、開運、家内安全の神様として親しまれています。普通の大黒様は、大きな袋を肩に掛け、右手に打出の小槌を持ち、米俵の上に立っておられ、その顔はニコニコと笑っておられ、七福神の一人として古くから非常に親しまれた神様でありました。元々はインドの神様であったのが仏教の守護神となり、因幡の白兎の神話に登場されるオオクニヌシノミコトと結びつき現在のお姿となりました。

福相大黒尊天は徳風会初代竹谷聰進先生が墓相、陰徳積みと共に自ら感得され、人々に勧められてきました。福相大黒尊天は頭巾や肩に掛けた大きな袋と右手に結んだ土印により陰陽のバランスと子孫繁栄を表しています。乗られる丸型の台座にも陰陽の力を秘伝の手法にて彫刻しています。その周囲には田畑・蔵・舟・二股大根を刻み衣食住の安定を祈念しております。また、左足を一歩踏み出された、静から動（せいからどう）に移る形相はまさに走り出さんというお姿をされています。別名「走り大黒」といわれ、皆様の願い事を迅速に解決できるようにお働きれているお姿をしています。

これら特徴は、初代竹谷聰進先生により私共の祖父の代より福相大黒尊天彫刻の作法と共に御指導いただき、二代目竹谷聰進先生からは特徴を変えず生命力と活力あふれる若々しいお姿をとの御指導の下に現在のお姿になりました。

私共　柿本常光はそれらご指導を忠実に守りに彫刻させていただいております。

頭巾をかぶり、右手は土印を結び、福を運び込み左足を一歩踏み出す福相の特徴は今も昔も変わらずに竹谷聰進先生のご指導の下、時を経て現在のお姿になりました。そのご指導を念頭に彫刻させていただいております。

左側の初期のお姿から、右側のお姿を経て、現在の形となりました

大型(花葉台無)：　身丈(68)20.6cm　総丈　30.3cm　　648,000 円
中型(花葉台有)：　身丈(52)15.6cm　総丈　25.8cm　　378,000 円
小型(花葉台有)：　身丈(32)　9.7cm　総丈　15.6cm　　129,600 円

福相大黒尊天像はその大きさにより良い寸法(吉寸法)で造像する都合上、
「大型」では左記の写真のような「中型」と「小型」の様に丸型台座の上部には迦葉台はありません。
あくまでも表す寸法の都合ですので、吉凶に障りません。

←「中型」「小型」(花葉台有)

当パンフレットの掲載仏壇は　数あるお仏壇のうち　私共が長年にわたり何度も御施主様宅へ吉相仏壇としてお迎え頂き安定した品質のお品を特に厳選してご紹介させて頂きました
別冊『仏壇へのいざない』掲載の一般仏具写真と併せて　吉相仏壇をお迎えされるにあたりご参考にして頂ければ幸いです

紙面に掲載されている仏具以外にもご用意させていただけます
詳しくはお気軽にお問い合せ下さいますようお願い申しあげます

あとがき

私共は、先々代が初代竹谷聰進先生より吉相仏具・仏壇、とりわけ福相御本尊の彫刻作法や心持ちなど製作上の秘技事を御指導いただきました。以来、先代～現在に至りその御指導を忠実に守り受け継いで参りました。福相御本尊は御下命頂いた御施主様毎に心をこめて彫刻し吉相仏具と共に謹作調整させて頂いておりますのでご安心して吉相仏壇に関わります事はなんなりとお尋ね下さいます様お願い申し上げます

合　掌

日本全国御説明・お納めに参ります

徳風会初代竹谷聰進先生御指導
福相御本尊仏師及吉相仏壇　専門仏具店

柿 本 凰 祥 堂

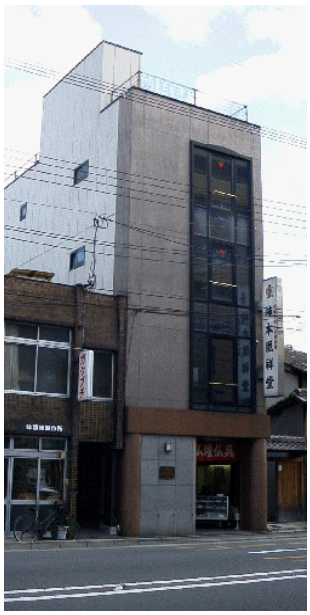
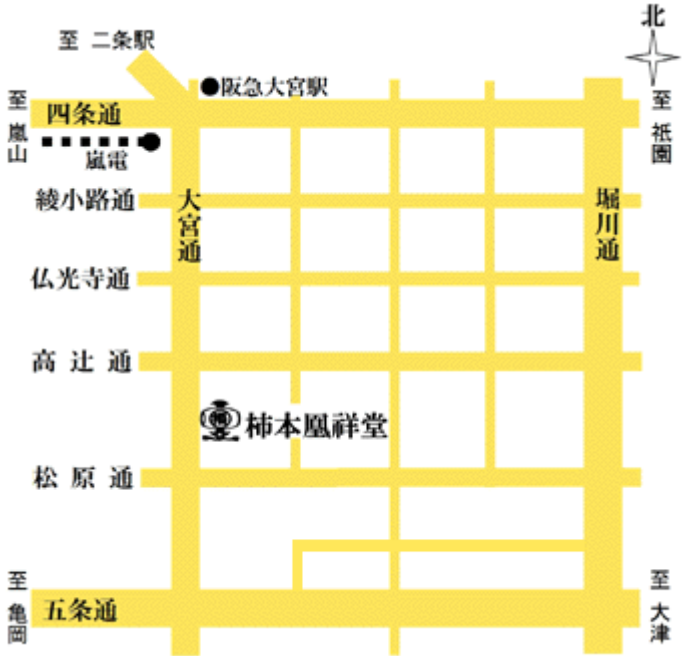
福相仏師　柿　本　常　光

【URL】http://www.kyoto-kakimoto.co.jp/
【mail】kakimoto@post.email.ne.jp

【住所】
〒600-8387
京都市下京区大宮通松原上る高辻大宮町 126 番地
（大宮松原バス停前）

・JR京都駅から京都市バス　15分
（206系統千本通り経由　京都駅前バス乗り場A3から）
・阪急京都線大宮駅より南へ徒歩8分

【電話】075-841-4772

【FAX】075-812-1321

営業時間　月～土曜日　9時～18時（土曜日のみ17時まで）
定 休 日　日曜・祝日・第3土曜日
上記定休日も含め、ご相談・ご納品をご依頼の際は事前に連絡賜りますようお願い申し上げます。
日時の調整をさせて頂きます。